



「まもろう9条 生かそう憲法」を掲げて（2007年6月9日、井口正雄さん撮影）

東大和

9条の会 だより

No.17

2009年
5月3日

東大和9条の会
事務局連絡先
東大和市立野1-1020
111 築山 雅良 方
電話・FAX
565-8386

守ろう9条 心をつないで

「東大和9条の会」は、結成4年目になります。いま、自衛隊のソマリア沖派遣やインド洋上での給油活動など、「憲法9条」違反が強行されるなか、私たち「東大和9条の会」の活動

はますます重要になっていきます。「思想信条や立場のちがいをこえて憲法9条をまもる」ためにつどった私たちの活動は、私たち自身が自分の活動としていかねばなりません。

「東大和9条の会」の活動方向は毎月行う運営会議で決めています。運営会議には、だれでも参加できます。いままで参加したことのない新しい方の積極的な参加をお待ちしています。活動は、自分にできることを

できる範囲でやって頂きます。多くの人の知恵を持ち寄って、「東大和9条の会」の活動を大きく斬新なものにしていきたいと思えます。多くのみなさんの運営会議へのご参加をお待ちし

いまから六十二年前、中学三年生の時に書いた日記が残っていた。

「五月三日 戦い敗れども国亡びず。我々日

本人にとつて世界史上に一大名誉が与えられる日である。あらゆる角度から見て世界の範

たるべき、我が日本の平和憲法が効力を発揮する日だ。今日の日記の筆は余りの感激のためこれ以上進まない。この

平和憲法は人類史の宝

感激は子孫の子孫まで、我々日本人は覚悟して伝える必要がある」（一九四七年の日記より）

前といわれる人類の起源に想いを馳せ、以後現代に至る人類の歴史の悠久の歩みを研究してきた。

東大和9条の会
代表よびかけ人
戸沢 充則

今年七十七歳になる私は、中学生の時の、この感激を心の支えとして、その後、一人の考古学者として、何百万年

く、世界中の人々が、人類史の共通の宝として永遠に守らなければいけないのだと、いまでも固く信じている。

九条の会講演会

加藤周一さんの
志を受け継いで

○6月2日（火）
5時30分開場
6時30分開会
○日比谷公会堂
*当日券1500円
前売券1000円
郵便振替↓九条の会
口座番号00180
9-611526

ています。5月の運営会議は16日（土）午後7時から中央公民館です。

5月10日に9条宣伝

憲法月間の5月、東大和9条の会は10日（日）午後2時から、「まもろう9条生かそう憲法」を掲げイトーヨーカドー前でロングラン宣伝をします。

なくずし的に9条壊し

しばりを一掃 「海賊対処」新法

派兵「いいじゃん」

海賊対策を口実にして、自衛隊に武器使用の「引き金」を引かせていいのでしようか。「戦争をしない。武器を持たない。紛争は話し合いで解決する」日本国憲法9条が、なし崩し的に壊されようとしています。

自衛隊が海外にいくときはこれまで、期間限定、地域限定、武器使用で「しばり」がありました。インド洋では6年、イラクは4年の期限があり、戦闘行為が行われていない地域での人道復興支援などでした。法案は「ソマリアの海賊対処」を言いながら、「ソマリア」の

文字はありませぬ。「自国船保護」の必要があるところ、どこにでも派兵できるようになり、各国艦船護衛の共同対処も正当化しています。

武器使用はこれまで正当防衛や防護に限定されていたが、停船させるために他に手段がないときに危害射撃も可能と明記されています。5月にはP3C哨戒

機も派遣されます。

恒久派兵法先取り

海賊退治を足がかりに、①期間・地域のしばりをとき、②共同軍事行動に協力、③武器使用の拡大、④国会には事後報告—これらの問題点がもりこまれたのです。まさに、派兵恒久法の先取りです。憲法9条を持つ日本の役割は、ソマリアの国づくりや周辺国の警察と警備能力向上への支援、これらを最優先させることにあるのではないのでしょうか。

憲法審査会の動議 自民・公明が提出

自民・公明両党は4月23日、改憲原案などを審議する憲法審査会の「規程」提出の動議を衆院議院運営委員会に出しました。

「来年5月の国民投票法施行を控え、与党は今国会から同審査会を始動させる考え」と報道されています。



動き出した「改憲手続き法」

4月から各市町村窓口にご存知ですか？平成22年5月18日から「憲法改正国民投票法」が施行されます。のパンフが置かれます。また（総務省が50万部配布）。総務省はまた「国民投票制度準備等関係費」47億円を計上、投票名簿整備補助等にあてます。

東大和市の投票人名簿準備予算	
●国民投票名簿作成システム構築委託費	697万6000円
●国民投票システム対応委託費	114万5000円
計	812万1000円

改憲・護憲 せめぎあい

09年1~4月のメモ

- 1・09 自民・公明「海賊対策等プロジェクトチーム」が初会合
- 1・13 与党チームが2回目の会合
- 1・15 与党チーム3回目の会合
- 1・17 ガザ停戦
- 1・20 オバマ大統領が就任演説 与党チーム、自衛隊法の海上警備行動発令でソマリア沖派兵を了承
- 1・28 首相が施政方針演説
- 1・30 与党チーム7回目の会合で武器使用基準大幅緩和を議論
- 2・03 衆院予算委審議始まる。8回目の与党PT。海自が護衛艦2隻の派遣を認める
- 2・11 建国の日反対集会と奉祝式典
- 2・17 「酩酊」会見の中川財務相が辞任。来日中のクリントン米国務長官と中曽根外相がグアム移転協定に署名。長官、民主・小沢代表とも会談
- 2・24 日米首脳会談、同盟強化を確認
- 3・13 ソマリア沖派兵へ海自に出動命令。海賊対処法案提出
- 3・14 自衛艦2隻がソマリア沖へ出港

高校一年のころでしか、当時唯一の楽しみだったラジオの深夜放送で、原爆被爆者の手紙が読み上げられました。その内容はもう覚えていません。



ただ、私はひどくショックを受け、さらにそれに続くパーソナリティの話から、憲法九条と自衛隊問題について初めて知ることとなりました。幼いころから「日本は戦争をしてはいけない国なのだ」ということを頭の中では認識していましたが、憲法についてほとんどは学習した記憶がありませんでした。その時は、ただ自分の無知さにあ

深夜放送と憲法9条



立野 斉藤 誠一

たのです。



た。幼いころから「日本は戦争をしてはいけない国なのだ」ということを頭の中では認識していましたが、憲法についてほとんどは学習した記憶がありませんでした。その時は、ただ自分の無知さにあ

▼▽……………▲▲
▼▽……………▲▲
たのです。



青藤誠一さん

▼▽……………▲▲
たのです。

きれ、恥ずかしさが募りました。
翌日、政治経済の授業で「外交上、日本の立場を強くするために自衛隊の強化が必要なのだ」と力説する先生にひどく腹を立て、食って掛かったことを良く覚えています。それほど前日の深夜放送は私にとって鮮烈だったのです。

平和問題ばかりでなく、在日朝鮮人をはじめ差別・障害・難病など様々な社会問題を取り上げ、私達に深く考える機会を与えてくれました。家庭や学校で成しえない大切な問題提起を、深夜放送が肩代わりしてくれていたのです。

今もなお、嘗ての私のような若者が数多く存在し、充填されることを待ち望んでいるところでしょう。そういう若者達のために、是非ともメディアは右傾化することなく批判的精神を持ちつづけ、少しでも斬新で鋭い切り口のストロークを、大衆に投げかけ続けて欲しいものだと、心の底から思うのです。

（南街・立野・中央9条の会ニュースから転載）

○「憲法と私」をテーマにした投稿を歓迎します。（編集部まで）

楽しく9条お花見

湖畔・狭山9 LOVE

7月で設立3年目を迎える9 LOVE——3月17日に29回目の月例会を開き、過去1年の取り組みを振り返るとともに、新年度の方針について話し合いました。



今年

田母神論文や自衛隊ソマリア沖派遣など憲法に関わる様々な問題について勉強会や映画会を計画したり、賛同署名を広げるためのQ&Aを作ろうと話合っています。また、他の地域の経験に学んで、もっともっと「楽しい活動」になるよう工夫したいねと相談しています。

4月9日には手作りとおありあわせ持ち寄りでお花見。花吹雪の下、酒と肴とおしゃべりを満喫しました。（写真）

09年1~4月のメモ

改憲・護憲 せめぎあい

- 3・30 海自艦が護衛を開始 北朝鮮ロケットで韓国大統領「軍事的対応に反対」
- 4・01 国民投票法パンフ500万部(総務省)。北朝鮮の自制求め国会決議
- 4・02 新憲法制定議員同盟が経団連・経済同友会・日本青年会議所と懇談
- 4・03 読売が改憲世論調査 賛成51・6% 反対36・1%
- 4・05 オバマ大統領「アメリカは核兵器のない世界を追求する。核兵器を使った唯一の国として行動する道義的責任がある」。
- 北朝鮮がロケット発射
- 4・07 北朝鮮への制裁強化で衆院が決議
- 4・09 侵略美化歴史教科書また検定不合格
- 4・10 「グアム移転」協定を衆院外務委で強行採決
- 4・13 北朝鮮の発射非難で安保理議長声明を採択
- 4・17 ソマリア沖へP3C派遣準備命令
- 4・23 「海賊対処」派兵法案が衆院を通過 自民・公明が憲法審査会・規程案を提出

芋窪・蔵敷奈良橋9条の会
「戦争をしない国日本」
上映会に中学生も参加

3月22日、蔵敷公民館で「日本国憲法が政府に命じつづけるもの 戦争をしない国日本―その歴史と真実を知る」DVD上映会をしました。3人の女子中学生を含む12人が参加しました。上映時間は90分。中学生たちは上映後の60分の討論にも参加して、「日本が九条を守り続けることが大切だと思います」、「ずっと守って戦争をやらないでほしい」、「みんなが一生九条を守り続けてほしい」と感想を述べました。

おとなたちも、「改憲勢力に負けないよう頑張って行きたい」、「3月10日の東京大空襲の被害者の一人で孫が中学3年生になる」、「九条の会が出来たとき、これは本物だと思い、地域に九条の会があることを知り参加した」、「日本が戦争を

する根源は安保条約にあると思う」などと討論しました。

南街・立野・中央9条の会
毎月、戸別にたずねて
賛同者を迎えています

「賛同署名」を広めようと、毎月地道に3地域を順繰りに戸別訪問、事前に関係資料・リーフを配布して訪問しています。3月に取り組んだ中央3丁目では15人の方が、賛同署名をしてくれました。地域の賛同者を少しずつですが増やしています。

6月20・21日開催の中央公民館まつりには「いま問われる憲法条文」をテーマに出展します。単なる展示ではなく、来場者との交流をしようと工夫をしています。目下その準備に大わらわですが、昨年賛同者になり、世話人にも参加している50代男性が頑張っています。みなさんのご来場をお待ちしています。

地・域・発

わが街の戦争遺跡

安島 喜一

南街五丁目、栄公園にモニュメントが置かれています。写真を撮っていると、若い母親と遊んでいた女の子が駆け寄ってきて

「おじいちゃん、これなーに？」
「何だろね・・・!! 何に見える？」
「引っかけられるもの？ 傘かな・・・？」
と真剣です。ママが銘板を見て
「へびのステッキだつて」
「へび・・・？」
「傘みたいだけど、ステッキなんだ。蛇の皮を張って、ステッキを作ったつてお話し」

① 山うなぎの蒲焼きとステッキ

「ほんと・・・？ コワイのそれって？」

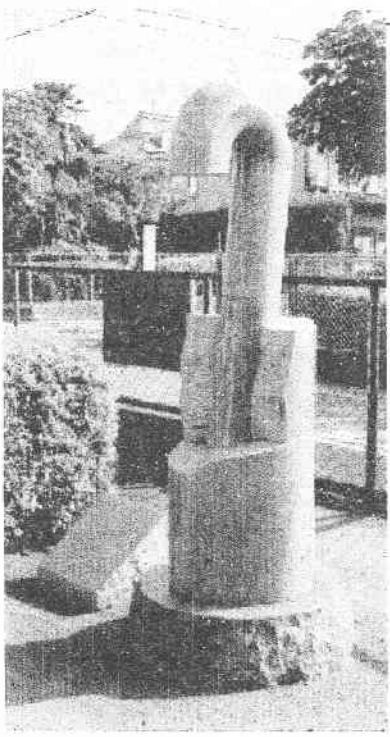
「答えるの難しいな。この辺に戦争中にコウバがあつて、そこで働いていたお兄ちゃんの話だ」
ママに、東大和のよもやまばなし「山うなぎの蒲焼きとステッキ」を紹介しました。『第二次世界大戦の頃のことです。当時の大和村も戦争が進んでくると、配給がきびしくなり食糧も不足になってきました。』

それはへびの事でした。現在の玉川上水駅付近は、雑木林が続きワンパク少年達の遊び場でした。

そこには長さ七〇センチメートル位の、茶色に黒の縞蛇や、青大将、黒い地もぐりが沢山いました。

地方から日立航空機に動員された青年の中に、へび取りのじょうずな人がいました。『・・・』

よもやま話はこう語りかけ、肉を蒲焼きにし、皮をステッキにした話を伝えます。地方から動員された青年達には、「国家総動員法」に基づく「国民徴用令」、「学徒勤労令」などをとくに、はるばるこの地に来たのでしよう。その地方も疲弊したとされます。当時の社会的背景が「山うなぎ」に重く重なります。



あじま・きいち 1933年生まれ。元東大和市収入役。著書に『変革期の地方自治』